



トラスただより



公益財団法人奥山保全トラスト会報 VOL. 5 / 2015. 8. 31



トラスト地 (全山原生林)

国有林



上市川第二ダムより南側を臨む

近々、当財団に譲渡される **富山県トラスト地** 黄線内 **680ha (203万坪)** 中新川郡上市町千石

NPO法人からのトラスト地の引き継ぎ準備進む

公益財団法人 奥山保全トラスト 理事長 室谷悠子

当法人への変わらぬご支援、誠にありがとうございます。

現在、NPO法人奥山保全トラストは2ヶ月間の解散公告中（8/25まで）で、解散登記等が完了すれば、11ヶ所、計1,824ha（551万坪）のトラスト地を、当法人に譲渡していただくことになっております。

人間は自らの生存を支えている地球環境を破壊しながら文明を発展させてきました。地球は有限であり、もうこれ以上の破壊に耐えられなくなって悲鳴をあげています。私たちは地球の声に耳を傾けねばなりません。地球は、人間だけのものではないし、今生きている者たちだけのものでもありません。

このような時代に、全ての生命の源である奥山水源の森を保全し、次世代へ引き継いでいくことを使命とする奥山保全トラストの存在意義は誠に大きく、その責任を思うと身が引き締まる思いです。

公益財団法人奥山保全トラストへの寄付口座

～土地取得・トラスト地管理資金等にご協力ください～

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993
(口座名) 公益財団法人 奥山保全トラスト



広大な立山スギの原生林

2006年8月31日購入



三枚滝



カモシカ

富山県上市町トラスト地 渡辺保護区 残雪が残る国有林（最奥）より手前の全山がトラスト地の一部

伐る木、伐る木、全部クマの巣穴じゃ（当時） 森山まり子

北アルプス山塊の一部であるこのトラスト地は、以前、国際興業の小佐野賢治氏が所有しており、スギの人工林にしようとして、まず林道工事を開始。しかし、半分入った所で工事は中止されたそうです。その後、岐阜県の会社が購入し、立山杉の巨木伐採を開始しようとしたところ、作業員が「伐る木伐る木、全部クマの巣穴じゃ」と悲鳴を上げました。それを聞きつけた当時富山県支部長の故亀田隆氏が、「その山、伐るな。全部買う」と言って、本部に連絡。本部は、クマに深い愛情をお持ちの資産家の渡辺氏にお願いして、全山購入しました。亀田支部長は「富山のクマの3分の1が冬眠時集まる山を保全できた」と大喜びされました。

私たちは今年の春（4月29・30日）、当時の作業員だった楽山四郎氏（88才）の案内で、久しぶりに調査に入りました。広大過ぎて一部しか調査できませんでしたが、中心部では、壮大な三枚滝の轟音が山中にとどろいていました。

哺乳類は、1日歩き続けて1頭のカモシカを見かけたただけでした。全山からミズナラが消えた原生林には、もはやクマの痕跡は見当たりませんでした。



入り口の看板

<写真は全てトラスト地内>



ワサビの自生群落



原生林内全てのミズナラが枯れていた



なめだき

岩の斜面を滑り落ちる滑滝



せんごくがわ

千石川の水量の多さに圧倒される



入り口にある滝の前で 左から、森山、東井（富山県会員）、楽山（案内人）、家田 最後列は東井氏友人

2015、4、29 撮影：水見竜哉